

あなたのご家族に無呼吸の方はいませんか？

現代病とも言える睡眠時無呼吸症候群(SAS)は、おそらくはどんどん増えています。その理由はなんといっても食文化(食生活習慣)の変化でしょう。高カロリー・高脂肪食が容易に手にはいるようになりこれらの摂取が増えています。ご家族で同じものを食べれば、体型が似てくる可能性もあるといえます。また、間食の好みや食事の時間帯(朝食抜きや寝る前の夕食)も肥満に大きな影響があると考えられます。つまり、長年CPAPユーザーの方と同じ食事を同じような食べ方で摂って来ているご家族の方もひょっとすると、SASを合併しているかもしれません。「いびきをかく」「夜中に目が覚めて熟眠できていない」「朝起きたときに身体がだるい」「体型が夫(父親)と似ている」「血圧が高いといわれた」「夜間しょっちゅうトイレに行く」というご家族の方は一度SASのスクリーニング検査を受けられてみてはいかがでしょうか。



さて、当院では新しい SAS スクリーニング検査(FM1T)を導入しました！

(*この場合のスクリーニングとは PSG 検査の対象となる SAS 疑いの患者さんを選別すること)

これまで、当院では SAS の診断確定を検査技師監視下睡眠ポリソムノグラフィー検査(アテンド PSG 検査)にて行ってきましたが、この検査は一晩入院する必要があるため若干コストもかかります。そのため、あらかじめ

SAS のスクリーニングを希望される方には、指先にセンサーを取り付けて爪の下を走っている動脈中の酸素濃度を測定・記録するパルスオキシメーターによるスクリーニングを行ってきました。しかしながら、やややせ型の方ではうまく無呼吸や低呼吸に伴う低酸素血症がキャッチできないことがあることがやや弱点でした。この新しい SAS スクリーナー FM1T の特徴は、①直接鼻や口での呼吸の程度を感知する方式でやせ型の方でのうまく無呼吸や低呼吸をキャッチできます ②装着はとっても簡単です ③ご自宅で装着できます ④返却は宅配便で送り返す事ができます(別途宅配料必要) ⑤しかも価格は従来のパルスオキシメーターとあまり差がありません。注意点があります。本検査は、病院ではなく検診部(病院の隣のビル)にて取り扱っています。詳しくは、当院検診部までお問い合わせください。

電話番号:095-844-1391



CPAPユーザーの声【70歳以上・男性】

私はアレルギー性鼻炎の為、耳鼻咽喉科に通院しており、「いびき」がひどいのは鼻に原因があるのではと質問しました。するとすぐに井上病院を紹介するから「無呼吸」の検査(SAS)をするように言われ、半信半疑で SAS の検査を受けました。その結果に愕然となり、徹底的に治療することにしました。

- ① CPAP 装着前:無呼吸回数 127 回 最長無呼吸時間 117.5 秒
- ② CPAP 装着後:無呼吸回数 0 回 低呼吸回数 11 回 最長無呼吸時間 47.5 秒
に改善されました。

現在は 22 時～6 時 30 分(8 時間 30 分)まで CPAP 療法を自宅で行っており、快適な生活を取り戻しました。「いびき」が高くてうるさいと言われている方は是非無呼吸(SAS)の検査をお勧めします。

この方のように鼻疾患を持っていらっしゃる方でも、鼻のケアをしっかりとすることで CPAP を継続使用できるものです。また、CPAP を装着し適正圧を決めるタイトレーションを行うことでその効果と問題点を確認できますので、当院では積極的にタイトレーションをお勧めしています。



<< お知らせ その一 >>

これまで木曜日の午後に担当していました山下嘉郎医師が 9 月一杯で退職となりました。(残念!) 10 月以降は、木曜日午後 3 時より 7 時までの外来は吉嶺医師が担当します。

<< お知らせ その二 >>

当院の睡眠専任検査技師である酒井利恵と有山淳平が、日本睡眠学会認定技師となりました。(万歳!) 今後、今まで以上に安心して睡眠検査を受けて頂けるように頑張ります。

SAS 診療室からのお願い

- ・CPAPユーザーの方は、**月一度の外来受診**が必要です。受診のない場合は、機器の返却・回収となる場合もありますので、御注意下さい。当院は**予約制**になります。**15 日までに当月内の御予約がない場合は、受診願いの文書をお送りさせていただくこともありますので、御了承頂き、早めの御予約をお願いします。**
- ・診察日には**御使用中の CPAP 機器もしくはカード**を忘れず御持参下さい。
- ・当院ホームページ(<http://www.shunkaikai.jp/sleep/>)も是非御覧下さい。
- ・来月の土曜 SAS 外来は **10/9**、**10/24** です。